

会議記録

会議名	第5回 (仮称) 市民協働推進指針策定委員会
日時	平成 23年 12月 20日 18時 0分 ~ 19時 40分
場所	市役所 3階 第1委員会室
参加者	市 赤羽秘書政策班長、秘書政策班齋藤主査、総合政策課、和田副主幹、手塚副主幹 策定委員 別紙名簿のとおり
開 会 (赤羽秘書政策班長)	
開会及び資料の確認	
会長挨拶 (宮崎会長)	
今年もあと10日となりました。寒さも厳しくなっています。風邪をひかないよう年末を過ごしていただきたいと思います。今年は節目の年というか、何かと忙しかった気がします。また、来年も何かと忙しい年になりそうな気がしますので、皆様のご協力をお願いしましてあいさつとします。	
1. 協働推進指針項目の調整について	
資料について、事務局で説明	
会長	大項目については、どのように調整しますか。
委員	大項目の内容が分からないのでは、検討できないのではないかと。
事務局	一覧表に各グループにおいて作成した大項目が載せてあります。同じ項目と思われるものは同じ色にしてあります。同じ項目が多くあるということは、それは必要な項目だと思います。
委員	各グループで必要と思われた項目については、その項目にどのような内容を記載するかを考えて、大項目をあげており、調整をすることは難しいのではないかと。
委員	最低限必要と思われる事項を決定してから、大項目を作成しては如何かと。
事務局	各グループのワークショップにおいて、必要と思われる大項目を作成しているので、これを元に調整をしてほしい。なお、中項目については、次の表にあるように、同じ内容と思われるものは横一列に並べてあります。これを見ると、どのグループにも同じ内容の中項目がありますので、どのグループも入れたい内容は同じだと思います。
委員	冊子は、どの程度の容量で考えているのか。
事務局	あまり厚い冊子では読む人が大変であり、分かりにくいものになると思いますので、なるべく分かりやすく薄い冊子にしたいと考えています。
委員	どこかのグループのものを参考にして、そこに追加や削除をしながら決めていってはどうかと。
会長	事務局としては、どう考えているのか。
事務局	事務局としては、各グループから出されている項目で重なりが多いものは重要な項目であると考えますので、1番重なりが多いCグループの大項目がよいと思う。

委員 事務局で案を提示してはどうか。

事務局 それでは、事務局でCグループの大項目に中項目を入れた案をつくりたいと思います。

委員 案ができたなら、事前に送付してほしい

事務局 内容までは難しいが、項目だけなら事前に送付したいと思います。

2. その他

今回は1月18日(火)18時から第1委員会室で実施する。

第5回 市民協働推進指針策定委員会 12月20日

氏名	所属団体等	出欠
宮崎 常男	矢板市区長会	出
池田 博	矢板市老人クラブ連合会	出
君島 里美	矢板市婦人会	出
星 哲夫	一般公募者	出
斎藤 隆之	市 都市建設課	出
三好 良重	片岡地区コミュニティ推進協議会	出
飯村 陵子	シルバーサポーター	欠
池田 ミチエ	老人給食ボランティア	出
海瀬 元之	ふるさと創年大学	出
佐山 公康	一般公募者	出
関谷 一男	市 生活環境課	欠
小口 晋	矢板市自治公民館連絡協議会	欠
鍛冶 知明	ボランティアネット	出
齋藤 修	泉地区むらづくり推進会議	出
鈴木 久	矢板まちづくり研究所	欠
櫻井 きの未	一般公募者	出
田城 博子	市 総務課	出
大柿 弘子	オピニオンリーダー	出
澳原 初男	矢板市子ども会連合会	出
小林 勇治	矢板市青少年育成市民会議	欠
高野 茂	一般公募者	出
金澤 雅子	市 福祉高齢課	出
高瀬 智明	市 生涯学習課	出

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
	はじめに		
1. 指針策定の目的	1. 「協働とは」	1. 市民協働の指針の位置付け	1. 新しいまちづくり
市民協働とは	協働とはどういうことなのでしょうか	位置付け	どんなまちを目指すのか
これからのまちづくり	なぜ、今、協働が必要なのでしょうか	目的	まちづくりにおける市民協働
市民協働の目指すもの	協働すると、どうなるのですか		なぜ市民協働なのか
	なぜ、協働指針をつくるのですか		まちづくりにおける市民と行政の協力、補完
2. 現状と課題	2. 協働の現状と課題	2. 必要性	2. 市民協働のよるまちづくり
いま、かかえていること		課題	市民協働を進めるために
地域にある問題		現在の背景	市民協働の基本的な考え方
情報の伝達方法		市民と行政のあり方	市民協働の領域、形態、ふさわしい事業
			※延岡市「協働」5ヶ条
			※香取市 地域の約束 10の柱
3. 基本的な考え方	3. 協働推進指針の位置付け	3. 協働の進め方	3. 協働を進めるための環境づくり
協働のメリット		ルール	市民協働の役割分担
役割分担		範囲(領域)	市民と行政の情報の共有
ルールづくり		協働の形	市民からの積極的な事業提案と環境整備
		事業	市民協働の担い手の発掘と育成
		場所	市民への啓発活動と意識改革・レベルアップ
4. 市民協働の進め方	4. 協働の進め方	4. 環境づくり	
具体的な手順	協働の領域	情報共有	
進めるために必要なこと	協働の分野	人材育成	
参加しやすい環境づくり	協働のパートナー	場所づくり	
評価と公開	協働の手法	活動のレベルアップ	
	協働の基本原則		
	5. 協働の役割・分担		
	6. 矢板市における協働の事例		
	7. 市民協働の手順		
	おわりに		
	資料編		
	委員会名簿		
	委員会設置要綱		
	検討の経過		
	用語解説		

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
	はじめに		
1. 指針策定の目的	1. 「協働とは」	1. 市民協働の指針の位置付け	1. 新しいまちづくり
2. 現状と課題	2. 協働の現状と課題	2. 必要性(内容・課題等)	2. 市民協働のよるまちづくり
3. 基本的な考え方	3. 協働推進指針の位置付け	3. 協働の進め方	3. 協働を進めるための環境づくり
4. 市民協働の進め方	4. 協働の進め方	4. 環境づくり	
	5. 協働の役割・分担		
	6. 矢板市における協働の事例		
	7. 市民協働の手順		
	おわりに		
	資料編		
	委員会名簿		
	委員会設置要綱		
	検討の経過		
	用語解説		

※同じ色は、表現或いは項目の内容が同じと思われるもの

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
市民協働とは	協働とはどういうことなのでしょうか		まちづくりにおける市民協働
これからのまちづくり			どんなまちを目指すのか
市民協働の目指すもの	なぜ、協働指針をつくるのですか	目的	
	なぜ、今、協働が必要なのでしょうか	現在の背景	なぜ市民協働なのか
いま、かかえていること		課題	
地域にある問題			
情報の伝達方法		情報共有	市民と行政の情報の共有
		市民と行政のあり方	まちづくりにおける市民と行政の協力、補完
協働のメリット	協働すると、どうなるのですか		
役割分担	協働のパートナー		市民協働の役割分担
ルールづくり	協働の基本原則	ルール	市民協働の基本的な考え方
具体的な手順			
進めるために必要なこと	協働の手法	場所	市民協働を進めるために
参加しやすい環境づくり		場所づくり	市民からの積極的な事業提案と環境整備
評価と公開			
	協働の領域	範囲(領域)	市民協働の領域、形態、ふさわしい事業
	協働の分野	協働の形	
		事業	
		人材育成	市民協働の担い手の発掘と育成
		活動のレベルアップ	市民への啓発活動と意識改革・レベルアップ
		位置付け	

※大項目とは別に中項目を並べ換えして、内容が同じと思われるものを横に一緒にしている。